

岩手県立高田高等学校 広報



令和4年度第8号

八重の汐

技 創
錬 磨
至 誠
造 磨 誠

米崎りんご摘果作業 体験学習

五月二十六日(木)、二年普通科文系Aコース(専門学校進学と就職を目指すコース)の生徒が、市内米崎町の果樹園で、明治二十年頃から約百三十五年間という栽培の歴史がある市特産の「米崎りんご」の摘果作業を体験しました。

この体験授業は、四月二十六日(火)に行われた摘果作業体験に続いて行われたもので、本校の総合的な探究の時間であるT×ACTIION P R O J E C Tの一環として行われました。

生徒達は、前回と同様に、「米崎りんご」の生産や発信に取り組みされているNPO法人LAMP(ランプ)様の職員の皆さんに手ほどきを受けながら、担当した「王林」の成長の遅い実などを、秋に商品となる実を傷つけないよう丁寧な作業を心がけて活動しました。



摘果中です



丁寧に摘果しています

また、今回は、洋なしの摘果作業も体験しました。令和三年度、本校ではLAMP様から買い取った規格外のりんごをジュースやジャムにして製品化する活動を実施しており、今年度も継続する予定です。

復興防災減災教育 講演会

六月六日(月)の七校時、一般社団法人防災ジオラマ推進ネットワークの上島洋様を講師に、段ボール製ジオラマを用いて復興防災減災教育講演会が開催されました。

この日用いられたジオラマは、五月二十六日(木)に生徒達が組み立てたもので、一五〇〇分の一の縮尺のものでした。講演会は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、主会場である氷上ホールと各教室をつなぎ、一・三学年生徒が各

講演会



復興防災減災教育講演会の様子

教室でという形式で行われました。講師の上島様から、段ボール製ジオラマを使って防災・減災に取り組みようと考えたきっかけや、全国各地でのジオラマの活用例などの説明を受けました。上島様の話は聞きながら、生徒達は、津波や土砂崩れなど、地域の危険区域について「住民がどうしたら『自分ごと化』できるか」や「防災の専門家とは違った視点で自分達にできることはないか」ということについて考えを深めました。

ノーマライゼーション 講演会

六月七日(火)六校時、一学年生徒を対象に氷上ホールを会場としてノーマライゼーション講演会が開催されました。この講演会は、福祉に関する先進的な取り組みについての講演を聴講することで、他者の立場を慮る姿勢を育

三学年対象保健講話

六月十五日(水)七校時、三学年生徒を対象に氷上ホールを会場として保健講話が開催されました。この講話は、がんを中心に、生活習慣病予防のために必要な知識を身につけさせることと、望ましい食習慣形成に向けて実践していく態度を養うことを目的に、県立高田病院院長の阿部啓二様、主任看護師の森田史様、主任管理栄養士の小山尚子様を講師に行われました。



保健講話

てることを目的に行われたもので、株式会社ヘラルボニー代表取締役副代表の松田文登様からご講演をいただきました。この講演会は、本校の総合的な探究の時間であるT×ACTIION P R O J E C Tの一環として行われました。



ノーマライゼーション講演会



本校の公式ホームページにアクセスするQRコード



note における本校のページにアクセスするQRコード